

元気だ 元気だ!!



豊橋市植田町
小林 昭二 (88歳) さん

「毎日の軌跡を綴る」

植田町の小林昭二さんは昭和16年の4月から日記をつけ始め74年になります。高師の農業補習学校の先生から栽培日記を書くように言われたことがきっかけで始めました。「記録を残すことは良いことだ」と思い卒業後も日記を書き続けました。カメラで記録写真も撮っていて、写真と日記でいろいろな出来事を記録しています。戦時中や豊橋空襲、敗戦、結婚大雨で植田が浸水、その時感じた事や思いを日記に綴っています。昔の写真が多くあるので校区の記念誌などを作る時には資料提供を求められることもしばしば。「植田の歴史は昭二さんの所に行けばわかる」まさに植田の生き証人ですね。

読み返せば「あの時はこんなことを考えていたんだなあ」と記憶が甦ってきます。「昭和28年5月26日。結婚式、人生の再出発。ともに白髪が生えるまで互いに手を取り合って頑張る意気込み。(二人の自筆の名前と押印)」昭二さんと植田の70年余の軌跡が数十冊の日記帳の中にありました。ちなみに今は農協で購入した3年連続日記を使っています。



J A 愛知中央会

農政をめぐる情勢

1. TPP交渉をめぐる情勢

政府は11月25日、「総合的なTPP関連政策大綱」を決定した。農業分野の対策については、自民党の「TPPに関する総合的な政策対応に向けた提言」の内容が踏襲されており、緊急性の高いものから2015年度補正予算や16年度当初予算に盛り込む方針である。

補正予算におけるTPP対策費は、3,000億円程度とする方向で調整が行われており、12月中旬を目途に閣議決定され、1月の通常国会で審議が行われる予定となっている。

2. 水田農業をめぐる情勢

農林水産省は、11月30日、平成27/28年の米の需給見通し、平成28年産米の生産数量目標等を内容とする「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」を「食料・農業・農村政策審議会食糧部会」に諮問し、了承を得た。

本県の生産数量目標は、前年比

約1.1%減の133,532トン(面積換算値26,338ha)となった。

なお、県別配分は、全国の目標を27年産米の都道府県別のシェアで按分し設定された。

3. 税制改正をめぐる情勢

自民、公明両党は10日、2016年度税制改正大綱を消費税の軽減税率部分を残し決定した。懸案事項であった遊休農地への課税強化については、所有者に利用の意志が無い場合に限り、固定資産税を1.8倍に引き上げる。一方、農地中間管理機構に貸し出した農地については、固定資産税を減税することとなった。

また、都市農業に関しては、「必要な税制上の措置を検討する」とし、今後、都市農業振興基本法を踏まえ検討を行うこととされた。